

研究題名	A病院産婦人科病棟における分娩時の会陰裂傷の現状について
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属:産婦人科病棟 氏名:津田充子(産婦人科病棟助産師兼母性看護専門看護師)
研究期間	当院の臨床研究倫理審査委員会の承認後～2021年5月31日
研究の意義・目的	分娩時の会陰裂傷は産後の排泄トラブルや痛みを生じさせ、産後の心身の回復に悪影響を与えていると言われています。これまで、当院において会陰裂傷に関する調査は行われていません。今回、ご出産される方の心身の負担軽減のために、分娩時の会陰裂傷の実態を調査したいと考えています。
研究の方法 (対象期間含む)	当院に保管されている助産録から、本研究に必要な項目を抽出し、分析します。対象となる方は2017年4月1日～2020年3月31日までに当院で、妊娠37週以降に経膈分娩(単胎児及び生産児)された方となります。
① 情報の利用目的及び 利用方法(匿名加工する 場合や他機関へ提供され る場合はその方法を含む)	① 使用するデータは、個人が特定されないように個人情報を除外したデータのみを使用します。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、看護系の学会や専門誌などに発表する可能性があります。名前やカルテIDなど個人が特定できるような情報が公表されることはありません。本研究において得た情報は本研究以外では利用いたしません。
② 利用し、又は提供する 情報の項目	② 研究対象者の分娩時の会陰裂傷の有無や程度、年齢や身長、分娩週数、妊娠糖尿病等の合併症の有無、器械分娩(吸引・鉗子分娩)の有無、児の出生時体重等の情報。
③ 利用する者の範囲	③ 津田充子、阿部恵利子、伊藤芽依、比佐加奈子
④ 情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は名称	④ 津田充子(産婦人科病棟助産師兼母性看護専門看護師)。
問い合わせ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1 武蔵野赤十字病院 産婦人科病棟助産師 氏名 津田充子 TEL 0422-32-3111 内線 5377